



群馬産直協議会「めぐるんま」 2035ビジョン



3つのビジョン

「めぐるんま」が「たべる」と「つくる」を明るく楽しくつなぐ存在になっている

「めぐるんま」に賛同する産地やメーカーが広がりネットワークの力で地域に食の安全安心を広げている

「めぐるんま商品」の想いを伝え多くの人が利用し次の世代に継承している

つながり～交流・継承～

広がり～地域・拡大～

● 生産者と消費者がつながる

交流をどこまでも大切に、たべる人はつくる人を知り、つくる人はたべる人を想う知産知消の地域づくりをリードする存在になっている。



● 学びと参加が広がる

「めぐるんま」商品に触れ、学ぶことを通して、主体的で責任ある援農や自主的に商品やその物語を伝えていく人が増えている。



● 多世代・福祉とつながる

子どもたちをはじめセカンドライフ世代などとも積極的につながり、福祉の観点からも農福連携を通して多様な多くの人と「めぐるんま」がつながり、安全安心の食の推進ができています。



● 人材が育つ場になる

パルシステム群馬職員等の人材育成・研修の重要な場となっている。

● つくる人のネットワークが広がる

群馬県内で安全安心に熱意を持って行動する「つくる人」のネットワークとして、農業だけでなく酪農業や畜産業等にも拡大し、また、加工等の製造者も同じパートナーとして、「めぐるんま」会員の輪が広がっている。



● 地域・行政と連携する

県内行政や地域行政とつながり、安全安心の食を推進する存在として農業課題や作り手課題などに意見を発信できる存在になっている。



● 担い手と未来が広がる

「めぐるんま」が新規就農者や作り手の継承者を増やすことに貢献し、持続可能な未来に広がっている。



想い～「めぐるんま商品」普及～

ささえあい～運営～

● 想いのある商品を届ける

安全安心にこだわり、物語を持った「めぐるんま」商品の価値を多くの人に伝え、その利用が大きく広がり、広く定着している。



● 新しい商品と関係が生まれる

生産者同士や製造者とともに連携がすすみ、新たな商品や関係性が生み出されている。

● 資源を大切に活かす

市場に出回らない希少な生産物や規格外品など、大切に利用されている仕組みができています。

● 認知と継承が広がる

生産者向け連続講座や大学生などへの発信を含め、多様な企画で「めぐるんま」商品を伝え、商品も「めぐるんま」もともに県内の認知度が上がり、継承する人々が増えている。



● 想いで支えあう

想いをもって「めぐるんま」を一緒に運営していくサポーターの存在で支えられている。サポーターとして運営を支える個人会員が増えている。

